

呑龍横丁

懐かしさと新しさが融合した
前橋市の新名所



前橋市千代田町の飲食店街、呑龍仲店を改装し、
昨年11月にリニューアルオープンした呑龍横丁。
昭和の面影を残す、レトロなまちの新名所、
前橋のゴールデン街を訪ねた。



飲んで 食べて
呑龍横丁で楽しむ
ディープなひととき♪

全店舗
横丁内の出前
OK!

やきとり すみっこ



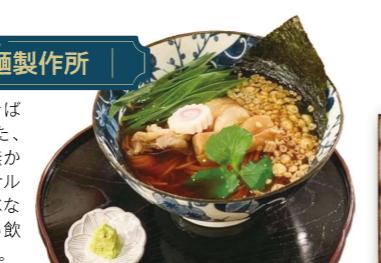
だしがたっぷり染み込んだおでんと、
1本100円から味わえる炭火焼き鳥
が人気の店。横丁内では広めの店内
でまつりくつろげる。



毎日変わるおつまみと、昭和レトロな雰囲気が常連客をとりこにする大衆
酒場。メインの焼きそばは、数種類をブレンドしたソースが決め手!

わーめる
和一麺製作所

ラーメンとそばの間を狙った、
ありそうで無かったオリジナル
和一麺を食べながら、ちょい飲
みを楽しもう。



人情味と風情あふれる
前橋ゴールデン街が復活
ぼんやりと灯る赤提灯が郷愁
をそそる前橋のゴールデン街、呑
龍横丁。昭和の歌謡曲を聞きなが
ら店の暖簾をくぐると、仕込みの
手を止めた店主が、穏やかな笑顔
で迎えてくれる。

「とりあえずビール」。「生一
丁!」。そんな言葉のやりとりか
ら始まる今宵の宴は、ノスタルジ
ックな雰囲気に心が高まり、酒も
つまみも一層うまい。

「とりあえずビール」。「生一
丁!」。そんな言葉のやりとりか
ら始まる今宵の宴は、ノスタルジ
ックな雰囲気に心が高まり、酒も
つまみも一層うまい。

「かつて、呑龍仲店という名で
にぎわっていたこの場所は、戦後
間もない頃に市内初のマーケッ
トとして誕生し、長年地元の人々
に親しまれました」

そう話すのは、呑龍横丁協同組
合理事で、広報を担当する吉田貴
行さんだ。全盛期は20件程の飲食
店が並び、小規模で家庭的な雰囲
気が人気を集めていたという。

しかし、年月が経つにつれ、建
物の老朽化や出店者の撤退、空き
店舗の問題など、さまざまな課題
も浮上する。こうした背景をもと
に2020年、呑龍仲店から呑龍
横丁へリニューアルを試みるブ
ログエクトが始動した。

「アーケード街の魅力であるレ
トロな空間を生かしつつ、活気あ
ふれる明るい場所にし、どの世代
でも入りやすい呑龍横丁として、
古き良き時代を継承したいと考
えました」と、同組合の理事長を
務める黒岩千春さん。コロナ禍で
人通りが減少した、前橋中心街の
にぎわいを取り戻したいとほほ
笑む。

一方、コロナ禍に配慮し、アーケード内に椅子とテーブルを並
べたオーブンスペースを設置す
ると共に、横丁内での出前サービスも導入。全ての店に他店のメニ
ュー表を置き、店先や電話で注文
できる体制を整えている。「全店
舗が協力して、これからも横丁を
盛り上げていきたいですね」と吉

田さんは笑顔を見せる。

温故知新を体感できる呑龍横
丁。人情味あふれる地元のゴー
ルデン街で、見知らぬ人や友人と交
流を温めるのもいいだろう。



地酒バー 京

呑龍横丁名物の呑龍ビールが飲める地
酒バー。群馬の地ビ
ールや日本酒、焼酎
など、種類も豊富。



スナック えくぼ

昭和58年にオ
ープンし、常連客で
にぎわう老舗スナ
ック。一度のぞけ
ば、明るくてかわ
いいママのとりこ
になるかも!?

また、昼間でも人々を呼び込む
ため、光の差し込むアーケードを
設置。並行して空き店舗への新規
出店者も募集した。昨年11月、呑
龍横丁へと改名し、グランドオー

ト開幕。バラエティーに富んだ14店
舗がそろい、新たなる歴史を刻み
始めた。

さらに、同組合は横丁をアート
で盛り上げたいと、クラウドファ
ンディングにも挑戦。寄せられた
支援金で、魅力的な看板やオブジ
エを制作し、細部にわたってレト
ロな雰囲気づくりにこだわって
いる。

ユニークなデザインのアンテ
イーク風看板や、レトロな装飾を
眺めていると、まるで昭和時代に
タイムスリップしたかのよう。そ
んな懐かしさと新しさの融合が
話題となり、若者たちの間では、
SNSの撮影スポットとして注
目を集めているそうだ。

一方、コロナ禍に配慮し、アーケード内に椅子とテーブルを並
べたオーブンスペースを設置す
ると共に、横丁内での出前サービスも導入。全ての店に他店のメニ
ュー表を置き、店先や電話で注文
できる体制を整えている。「全店
舗が協力して、これからも横丁を
盛り上げていきたいですね」と吉

田さんは笑顔を見せる。

温故知新を体感できる呑龍横
丁。人情味あふれる地元のゴー
ルデン街で、見知らぬ人や友人と交
流を温めるのもいいだろう。